

棚田LOVER's 通信

第4号

2010年1月 NO.4

～棚田を愛し、棚田を育む 未来の子どもたちのために～

発行：棚田LOVER's(ラバーズ)

(棚田の保全と活用、都市と農村交流、地域活性化を目的とする有志団体)



棚田LOVER'sメンバー
からのメッセージ



棚田LOVER's
メンバー 梅本亮介
奈良県立大学
地域創造学部2年生

田舎に行ってみませんか？

先月号のチラシにも掲載されていた
「田舎に住んでみないかい」の企画に参加しました。
有機農業を28年されている牛尾さんの農場を
見学させていただいたり、おいしい料理も頂きました。

採れたての野菜の味は違う！

畑で採れたての野菜と
スーパーで並ぶ野菜の味が違うことを初めて知りました。
今回の企画は、主に都市部で生活されている方々の
参加が多く充実した内容になりました。

農業は大切！現場で学ぼう☆

都市と地域の交流の場としても、食の安全のためにも、
農業を守っていくことの重要性を感じました。
私は、これからも農村地域に出かけて、
現場で学んでいきたいと考えています。

棚田LOVER'sとは？

棚田LOVER'sは、2007年5月に立ちあがった有志団体です。棚田の保全と活用、都市と農村交流、地域活性化を目的として、兵庫県市川町、神河町、香美町、姫路市、佐用町、神戸市で田植え(5月)・稲刈り(9月)・試食会等の活動をしています。

2月14日(日) オリジナルMy鎌デザイン&野菜チョコレートケーキ作りの挑戦
10時～14時 神戸市くすのき農園にて

2月27日(土) 10時～14時 棚田米オニオンカレーと野菜スープを食べよう☆
姫路の商店街たまちゃん街の駅にて

3月7日(日) 12時～17時 食と生命(いのち)と里山と～私たちの中播磨in2020～
中播磨県民局姫路総合庁舎内職員福利センターにて

1月8日(金)19時～21時に

「みそ作りの魅力を語る～どうやってみそが出来るのか？～」と題し、講師に橋屋の橋本博和さんを招き、第9回目の有機農業講座を姫路ゆうき野菜の会にて行いました。

講座の報告



写真左: 橋本博和さん 写真右: 講座の様子

今回の有機農業講座は、姫路の味噌造りの老舗、橋屋さんに味噌の魅力について話していただきました。最初は、「味噌造りの話」と聞いていたので、味噌造り体験のイメージで参加していました。しかし、お話は橋屋さんの歴史から始まり、麴の話や、味噌の種類と味わい、作り方の違いなど専門的なお話、作りの適期から暦のお話にも広がり、とても2時間では足りないほどです。

面白かったのは、昔は椿の灰を使って、ご飯のカビから自分たちで麴を採っていたという話。また、寒い味噌や桜味噌といったと、味噌造りの適期の違いは、寒い時期は農閑期で時間があり、暖い時は麴菌が働きやすいというお話も興味深く聞くことができました。昔は味噌造りが生活の身近なところにあつたということがうかがい知れます。

怒濤のトークの中に、橋屋さんの味噌造りに掛ける想いが感じられました。味噌という視点から、歴史、技術(科学?)、文化といった総合的な学びを得た 貴重な時間でした。(服部宏輔)

さとっちの有機農業

オーガニックビジネスプランナーの鈴木さと子さん(さとっち)が有機農業の最近の話題や魅力を話します。

第4回: 子どもから愛情ある有機農産物を広げよう

～有機農業の2010年度予算から～

有機農業に関する10年度予算が決定しました。

その中の一つとして、有機農業推進事業の枠には3年間の産地収益向上プログラムの策定とそれに基づく販売企画力強化、生産技術力強化、人材育成力強化などが入っています。

販売企画の中には学校給食への供給もあげられており、食育との連携が促進されそうです。

子育て世代が有機農産物の流通業界の一番のターゲットとされてきたように、多くの人は子どもを持つと食の安全に気を配るようになるようです。その中には有機農産物にも関心を持つ人も少なくないとか。ということはまさに学校給食への有機農産物の供給は保護者にとって歓迎するところだと思います。

子どもは未来の財産です。彼/彼女らを育てる学校給食に地域の有機農産物や人々の愛情が届けられるシステムを作っていきたいものですね。



2010年1月16日(土)、17日(日)に兵庫県市川町で田舎に住んでみないかい?と題し農作業体験・地元の方との交流会を行いました。山口学生耕作隊の方を招きました。



自然豊かな環境で農作業体験や農場見学ができ、有意義なツアーでした。また、“とんど”(写真中)の見学や夕食会で、温かな地域の人たちともふれあえて、とても楽しい時間を過ごせました。市川町はそういう点が、とても素敵なおところだと思います。棚田見学の際に耕作放棄された棚田も多く見かけましたが、これは市川町だけではなく日本の多くの農村が直面している問題だと思います。そんな現在、これからの地域の農業をどう活かしていくのか、私たち若者が考え、実践し、次世代に安心して引き渡せる環境づくりをしていきたいと感じました。」(熊木俊耶)

牛尾さんの温故知新

有機農業を約30年間されている牛尾武博さんが今旬の野菜や作物等を紹介します。

思いきって公開 野菜の価格

低所得者は農薬まみれの安い農産物しか手が出ない。経済力のあるものが安全で美味しい有機農産物を買えるのだ。」最近、人権派で尊敬する人の言葉が気になっていた。まだまだ有機農業への誤解が多いと感じた。確かに東京のど真ん中には、こんな高価格で誰が買うのだろうと思わせる有機農産物の店もある。しかし一般とはだいぶ違う。そこで、私の有機野菜の販売価格を思いきって載せることにした。

ここでは、10月25日に宅配便で大阪のHさん(たぶん3人家族)へ送った例を紹介する。2週間に一度、セット野菜で届けている。25日に採れた野菜と卵をダンボールに詰め合わせた。箱の底から、保存中の重くて硬いカボチャ2分の1個、1kgで200円。サツマイモは1kg350円、泥つきなので新聞紙にくるむ。ショウガはやや高め、400g320円だ。

ダイコンはまだ小さいので、葉つきのが1本100円。小さいが味はまあまあのニンジン500gで170円。実が締まって歯切れがさわやかな露地キュウリ400gが100円。軟らかすぎて流通には不向きな秋の早生キャベツ、およそ1kgは200円。ピンポン玉大のカブ600gは180円。

もう終わりの季節を迎えた万願寺系トウガラシ500gは300円だが、10月末のトウガラシは柔らかくて盛夏より美味。夏の終わりに播種したチンゲンサイは大きく育ち2個で500g120円だ。私が一番気に入っているレタスは、葉っぱが厚く甘く、日持ちも抜群で、スーパーではお目にかかれない大きな半結球性で、1個約500gで150円。コマツナは400gを新聞紙にくるんで160円。間引きのキクナ200gが100円。それに収穫が終わりに近づいたニラ150gが130円で、合計2580円を80円値引きする。

さらに平飼卵10個が360円。そして送料の920円を加え3780円の請求となった。なお各野菜の1kg当りの単価は1年を通じて一定。産消提携で中間が入らない仕組みだからその価格。生産者は再生産可能な価格で、消費者も納得できる価格といえる。

だが問題は、いくら有機野菜は保存性に優れているといっても葉っぱの多い季節は保存に工夫が要る。私の消費者は受け取った野菜を、上手に2週間かけて消費しているはずだ。それと、定期的に届く多彩な栄養価に富んだ有機野菜を食べ続けることに、大きな意味がある。





伊藤麻理子さん (くすのき農園)



さあ、まずは、家庭菜園から自然を感じましょう☆

今回のゲストは伊藤麻理子さんです。伊藤麻理子さんは神戸市西区で、幼いころのふるさと体験の場所作りを目指して、くすのきエコ農園を2008年に開園されました。

自分がここで作りたと思える貸し農園として解放されていて、2000坪で約180区画あり、メンバーは現在54名です。今年は60区画新たに開園される予定です。その中で、生活の中の日本の文化を伝えたいと熱く思っています。HP:<http://www.kusunoki-farm.com/>



< 棚田LOVER's もくすのき農園で活動させていただいています。 >

- ・2009年8月30日には、農楽カフェのプロローグとして、ジャガイモ植えを行いました。
 - ・2009年12月19日には、植えたジャガイモの収穫ともちつきに参加させていただきました。
 - ・2009年12月27日には、小松菜とハウレンソウの種をまきました。今芽が出てきています。
- そして、**2月14日(日) 10時~14時**には、「オリジナルMy鎌デザイン&野菜チョコレートケーキ作りの挑戦」と題して、播州かまやの長谷川 元則さんを招き、オリジナル鎌を作ります。さらにバレンタインデーなので、料理人の中島努さんを招き、チョコレートケーキも作ります。

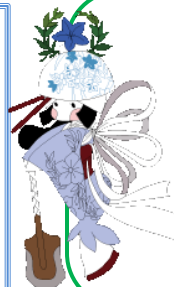
あーちゃんとしのちゃんの棚田の植物

第3回 キキョウ

東京大学で棚田の植物を研究している出口詩乃さん(しのちゃん)が植物の説明を、神戸芸術工科大学でデザインを勉強している中野綾さん(あーちゃん)がその植物をキャラクター化した思いを語ります。



星の形をした紫色の花をもつ、秋の七草の一つ。清廉な姿は、秋の里山の美しさを一層引き立てます。日当たりの良い草地を好み、オミナエシなど他の秋の野草と共に花開きます。環境省レッドデータブックでは絶滅危惧種に挙げられ、貴重種とされます。どうぞ、彼らを見つけたら、横に腰を下ろしてそっと見守ってあげてください。



りんとして野に咲く清楚で女性らしい雰囲気、落ち着いた長女として表しました。頭のお椀と塗り箸が自慢。いつも背筋をしゃんと伸ばして妹たちの面倒を見る。頼れるお姉さん。彼女が炊き上げた棚田米は絶品。

